

三田市多世代活躍支援課 御中

第3回こうみん未来塾「あなたもパイロットになって大空を飛びませんか!？」実施報告書
作成：弥富こうみん未来塾実行委員会

【日時】平成29年9月24日(日)10時00分～12時00分

【場所】弥生が丘コミセン

【参加】子ども20名、保護者・見学者・スタッフ16名（うち2名が三田市多世代活躍支援課）

【内容】

・弥富こうみん未来塾実行委員長梶井氏の司会で始まり、副会長笹倉氏の挨拶に続き、事務局の岡氏により講師の井原克行先生（元日本航空機長）の紹介がありました。

・まず、体験談では、日の出・日の入りのタイム差が地上と上空では、約20分（日の出は早く、日の入りは遅くなる）あることで夕日が上空では沈まずに昇ってくる現象への遭遇、日没の色は虹の色の配列と順番が逆になる現象、さらに雷の話では、雷雲が近づけば事前にサンバイザーを下ろし部屋のライトをつけてサングラスをして備える話や機体に落雷するとセントエルモのコロナ放電現象で眼くらましに合いしばらくは眼がみえなくなる話、また、ロケットの発射直後の軌道を見た話などで、一気に子ども達の心をつかまれていました。

・次に、飛行機の飛ぶ原理の話では、推進力（エンジンにより前に進もうとする力）と抵抗力（風や空気などの前に進むのを邪魔する力）、揚力（上に上がろうとする力）と重力（落ちようとする力）について、分かり易く説明がありました。特に揚力の話では、翼の上では空気が速く流れ、下側では遅く流れることで、早い流れの方に機体が吸い寄せられる（浮き上がる）ということ、ホームの電車通過時の例えなどを挙げて分かり易く解説して下さいました。

・更に、操縦に関しては、操縦桿と方向舵の関係、スロットル（アクセル）とミックスチャーレバー（空気と燃料の混合調整）、主要計器（速度、姿勢、高度）の位置、また、飛行機が飛ぶ方向を変えるために、主翼にあるエルロン（補助翼）、垂直尾翼にあるラダー（方向舵）、水平尾翼にあるエレベーター（昇降舵）と呼ばれる3つの「舵」がついており、これらを上手くコントロールすることによって方向や高度を変え、飛行機は目的地を目指して飛行していると説明がありました。

・いよいよ操縦桿を握っての模擬飛行体験です。3・4年生はゲーム形式で3つの目標を通過する（一人3.4分）体験、5年生以上は、最初に女子高校生が八尾空港を離陸し計器や前景を見ながら水平飛行や旋回飛行を体験し、次に小学生は交替で水平飛行や旋回飛行を体験、最後に男子高校生が水平飛行や旋回飛行の後、着陸を体験しました（一人4分ぐらい）。

・終了後、子どもさんから飛行機の操縦は「こころ」が大事だなあという感想がありました。
・講師の井原さんから、子どもさん達に「知」の財産を沢山蓄えて頑張ってくださいとコメントを頂きました

・最後に、梶井会長から終わりの挨拶と富士が丘で定期的に行っているパイロットスクールの紹介があり、無事閉会しました。なお、会の途中に市長の奥さんが飛び入りで見学に訪れて一言挨拶をして下さいました。

【写真】



講演 スタート



最初は体験話で皆のハートを引き付け



いよいよ、模擬操縦体験



年少者はゲーム感覚でのくぐり抜け



講師の話聞く真剣な眼差し



5年生以上は水平飛行と旋回飛行を体験

【終わりに】

- ・前日からの機材の搬入やセッティングなど講師には多大なお手間をとって頂き、お陰様で大事なくスムーズに終了できました。
- ・いずれの子どもさんも、初めての体験に緊張しながらも一生懸命取り組んでおられました。ただ、全ての参加者に体験してもらうため、時間を要することから、体験終了の子どもさんから順次帰宅してもらったのは、ちょっと締めりが悪かったように思いました。
- ・でも、次のアンケート結果にもあるように大半の子どもさんが、「とても面白かった」という評価をくださったことは、大成功だったと思います。

【アンケート集計結果】

<子ども用：回収 20 名（高校生 2 名、5.6 年生 11 名、3.4 年生 7 名）>

- 感想 とてもおもしろかった：16/20、おもしろかった：4/20、
あまりおもしろくなかった：0、おもしろくなかった：0
 - 理由
 - ・緊張しました
 - ・低学年でも簡単に遊べるくらいだから、とても面白かった
 - ・超緊張したけど出来て良かった
 - ・初めての体験でとても楽（嬉）しかった（2名）
 - ・操作は難しかったけど楽しかった（2名）
 - ・操縦がとても面白かった（2名）
 - ・実際に飛行機を操縦しているような感覚でとても楽しく、もう一度やりたい
 - ・着陸のとき機体がふらふらして焦った
 - 印象に残ったこと、わかったこと、疑問に思ったこと
 - ・パイロットのゲーム
 - ・パイロットの経験話を聞いて、またやってみたい
 - ・パイロットは大変だということが分かりました
 - ・飛行機の動かし方が難しいことが分かりました（2名）
 - ・本物の飛行機を操縦しているようで楽しかった
 - ・井原さんは何故パイロットになろうと思ったのか？
 - ・飛行機の操縦の仕方が分かって良かった
 - ・パイロットの真似をして空を飛んだこと
 - ・難しかったけれど出来たから良かった
 - ・操縦は楽しかった。飛行機は色々な機能があると初めて知った
 - ・飛行機はとても繊細
 - ・パイロットは車に乗れるの？
 - ・飛行機の翼が折れているものと折れていないものはどう違うのか疑問
 - こうみん未来塾で「体験したい」「学んでみたい」こと
 - ・虹のくふう（ひみつ）
 - ・ユーチューバーになる（2名）
 - ・インターネットプログラミング
 - ・お菓子作りや美容師を体験したい（2名）
 - ・パソコン
 - ・車の運転（3名）
 - ・飛行機についてもっと知りたい
 - ・電車のこと（しくみ）
 - ・飛行機の動く理由が分かったから、次はヘリコプターの動く理由が知りたい
 - ・ホワイトホールの存在や宇宙の終わり方
 - ・将棋・五目並べ
 - ・お茶会（茶道・華道）
 - 次回（人と自然の博物館提供のテーマ）の参加希望者： 6名
- <保護者用：回収 2 名>
- 感想 とても面白かった：2、面白かった：0、余り面白くなかった：0、面白くなかった：0
 - 理由
 - ・飛行機の飛ぶ理由は不思議だった。更に詳しく知りたいと思った
 - ・臨場感がありました
 - 印象に残ったこと、疑問に思ったこと
 - ・コックピットを手作りで作成しているのにとっても驚いた。また、子供達の社会や科学の感性を高めるのにとっても良い取り組みだと思いました
 - ・子供にとって貴重な体験でした

以上